



緑丘トピックス

平成 27 年度
第 6 号

10月21日(水) 発行



Date Midorigaoka High School 北海道伊達緑丘高等学校 TEL/FAX 0142-24-3021

10月の校長室から

平成27年度見学旅行に寄せて
「古きを学ぶ旅の大切さとは」
～より豊かな世界に導く、新しき目を持つために～

北海道伊達緑丘高等学校長 鍵谷 好徳



旅の語源は、正確なものは未詳であるが、古くは住居を離れることを、すべて「たび」と言いました。その意味では「たどる日」「発日」あたりが妥当です。「他日」「外日」など別の地で過ごすことから「たび」となったか、他の家で調理したものを頼ることから「他火」が語源ともされます。このように物事を知る上で、語源を考えることから始めることも大切であり、興味深くもあります。

さて、「人はなぜ旅をするのでしょうか」。この問いに明確な答えは「人はなぜ恋をするのか」を説明することと同じくらい難しいです。旅の歴史は段階的なものであり、最初は水や食べ物を求め、次は定住に安全な場所を求めるなど生きるために旅でありました。そのため庶民が好む旅となるには歴史的にかなり時間を要しましたが、除災招福のための庶民の信仰の旅だけは、平安末期から鎌倉時代、そして室町時代から江戸時代と広がってきました。このような旅は多様な歴史をもちます。

それでは「旅と学び」の関連性について考えてみます。私は本校で一貫して言い続けていることがあります。それは、「親や兄弟、家族そして仲間を大切にすること」。そして「その心を自らの中心軸にする」ということです。それは「学び」から会得するもの以外はないものです。

ゆえに見学旅行とはそのような「学びの機会」の一つであり、学校を離れた「授業」とも言えます。理由や目的を問わず旅することは、日常生活を一時的に離れて自己を見直し、新しき知識を求めると言う意味では普遍です。

平素とは違う環境で自然や歴史文化、人との出会いは新たな価値観との出会いであり、美しい、楽しい、美味しいなどの感じ方とともに、自らをより豊かな世界に導くものとなります。平素の生活から離れ、多くの古き創造物や生き様にふれ、様々な出来事に遭遇する。そのことをどう生かすか、旅の価値は、旅人の心構えで決まります。生徒諸君の見学旅行が、このことに気付く良き旅となることを願います。

最後に、とても良いフランス作家の言葉を紹介します。

「本当の旅の発見は、新しい風景を見ることではなく、
新しい目をもつことである」～マルセル・ブルース～

2学年「見学旅行」 4泊5日関西方面を研修

2学年の「見学旅行」が10月4日～8日の5日間で行われ、生徒たちは京都・大阪・奈良など4泊5日にわたり関西方面の歴史や文化を学ぶことができました。大きな事故もなく無事研修を終えることができ、一生の思い出となる貴重な体験となりました。

初日は新千歳空港から航空機で関西入りしたあと、奈良公園へ。たくさんの鹿たちに囲まれながら、奈良の大仏を拝顔。実物の大きさに圧倒されていました。2日目は三十三間堂を見学したあと大阪に赴き、なんばグランド花月において本場のお笑いを鑑賞。テレビでお馴染みの芸人さんたちを目の前で観ることができ、生徒たちは大きな歓声をあげていました。



そしていよいよ班ごとの自主研修です。大阪で半日・京都で丸1日(3日目)、事前に調べた情報をもとに名所を巡り、見聞を深めていきました。京都の自主研修では、各班が「舞妓体験」「和菓子づくり」「蠟燭の絵付」などを体験する場面もあり、古都の伝統に触れる良い機会となりました。との土地ならではの名物もたくさん味わったことでしょう。

その後、4日目は大阪USJを見学。5日目は神戸に行き、全員でクルージング体験をしたあと中華街を散策し、帰路につきました。5日間の研修をつうじて、異なる地域のさまざまな文化に触れながら、集団の規律や旅先での感謝の心、他者を思いやることの大切さにも気付いたのではないかと思います。今後の学校生活に大いに役立ててくれることでしょう。



1学年は「縄文体験学習」 縄文の知恵と生活を学ぶ

10月7日、1学年の生徒たちが市内の史跡北黄金貝塚公園を訪問し、伊達市噴火湾文化研究所学芸員の方々によりご指導のもと、「縄文体験学習」を行いました。生徒たちは、近隣の貝塚などから発掘された遺物の洗浄や縄文土器の拓本作り、森づくりのための苗木作りなどを体験し、地域の歴史に対する興味・関心を深めていました。



また史跡内の見学では、自然と共に生きた縄文人たちの生活について知ることができ、環境を守っていくことの大切さについて考える良い機会となりました。このような身近な地域の貴重な歴史文化の財産が「世界文化遺産」に登録されるよう、私たちもさまざまな取り組みを続けていきたいと考えています。生徒一人ひとりがその気持ちを抱き、行動してくれることでしょう。ご協力いただいた皆様に、深く感謝申し上げます。

生徒一人ひとりがその気持ちを抱き、行動してくれることでしょう。ご協力いただいた皆様に、深く感謝申し上げます。

生徒会役員選挙

選挙権年齢引き下げをうけ
役員選挙もひと工夫...

10月16日、生徒会役員改選のための選挙が実施されました。ご承知のとおり、公職選挙法の改正により選挙権年齢が18歳に引き下げとなったことにより、本校一部の現役生徒も来夏に行われる参議院議員選挙で一票を投じることとなります。

そこで今回、できるだけ実際の選挙に近い形で実施しようと本校「選挙管理委員会」が提案し、選挙ポスターや簡単なマニフェストの作成を行いました。さらには投票用紙も現実に近いデザインとする工夫も施しました。生徒たちは真剣に選挙活動や投票に臨みました。



とみどり Midorigaoka よい撮い緑 2015年9・10月

◆◆◆◆◆ 9月15日(水) 学校評議員会を実施



5名の学校評議員の方々にお集まりいただきました。
学校経営方針と成果、今後の課題などについて意見交換しました。

9月25日(金) 芸術鑑賞(演劇) ◆◆◆◆◆



劇団トマト座(東京)による『ひめゆり』を鑑賞しました。
戦争の悲劇と罪深さについて考えさせられ、感動しました。

◆◆◆◆◆ 9月29日(火) 避難訓練(火災を想定)



西胆振消防組合消防員の方々によるご指導のもと行いました。
強風により屋内での実施でしたが、防災意識を高めました。

9月29日(火) サッカー部が伊達市長に表敬訪問 ◆◆◆◆◆



選手権全道大会出場を菊谷秀吉伊達市長に報告しました。
全道での健闘を誓うとともに市長から激励をいただきました。

◆◆◆◆◆ 10月7日(水) 3学年「ルスツ遠足」



3学年がルスツリゾートにバス遠足を行いました。
受験シーズン本番を迎える中、仲間との思い出を作る一日でした。

ホームページでも学校生活を紹介しています！

行事をはじめ、日々の生活や配付物(通信等)を日々公開・更新しております⇒ <http://www.datemidorigaoka.hokkaido-c.ed.jp>



11月の行事予定表

公開授業週間 ⇒ 11月4日(水)～9日(月)
インターンシップ ⇒ 11月12日(木)～13日(金)
後期中間考査 ⇒ 11月24日(火)～27日(金)

日	曜	行 事 予 定
1	日	
2	月	
3	火	文化の日
4	水	公開授業週間、学校教育指導(二次)
5	木	カウンセリング事業
6	金	
7	土	第5回道看模試、第3回ベネッセ・駿台マーク模試①
8	日	第3回ベネッセ・駿台マーク模試②
9	月	アクティブ・ラーニングに係わる授業公開・研究協議
10	火	
11	水	
12	木	インターンシップ(2年)、職員会議
13	金	交通安全の日
14	土	第3回高2看護模試、第2回高2公務員模試
15	日	
16	月	
17	火	考査準備期間
18	水	
19	木	
20	金	
21	土	
22	日	
23	月	勤労感謝の日
24	火	後期中間考査①
25	水	後期中間考査②
26	木	後期中間考査③
27	金	後期中間考査④、 薬物防止・防犯教室
28	土	全統センタープレテスト①
29	日	全統センタープレテスト②
30	月	

アクティブ・ラーニングに関する 公開授業を行います！

教師が多くの知識や技能を与えていく方式ではなく、生徒自らが協力しながら課題を追究したり、教え合ったりする「アクティブ・ラーニング」を取り入れた授業の研究を、本校を会場に地歴公民・理科・英語・保健体育の4教科で行います。生徒たちの活動のようすをぜひご覧ください。



伊達緑丘高等学校校友会

「喜楽園」を訪問しました 文化で利用者の方々と交流



9月30日5～6校時、生徒会執行部の生徒及び合唱部・家庭部・吹奏楽局の生徒など約45名が、市内の高齢者福祉施設である喜楽園(社会福祉法人・北海道伊達博光会)を訪問しました。喜楽園への訪問は、奉仕や思いやりの精神を養うとともに、ボランティア活動を通じて地域への社会貢献を果たすため、例年実施しています。

交流会では、合唱部・吹奏楽局による音楽演奏に加え、家庭部の生徒たちが活け花のお点前を披露。利用者の方々から大きな拍手が送られました。このほかボランティアには、看護や介護など将来医療・福祉の現場に従事しようと考えている生徒も参加し、笑顔でふれあいの時間を過ごしていました。ご協力いただいた施設の皆さま、ありがとうございました。



「学校説明会」で250名の中学生が参加してくれました！感謝です！